

— | —
 (月)

自発の献げ物

出エジプト記三五章—29節

主がモーセを通して行うように命じられたすべての仕事のために、男も女も、心から進んでそれらを携えて来た。イスラエルの人々は主への自発の献げ物として携えて来た。(29)

神の示された設計図に基づく幕屋の建設が始まります。まずは幕屋建設に必要な材料集めですが、その大原則は強制収用ではなく、人々の自由な意志に基づく献げ物によって全てをまかなうということです。モーセの呼びかけに応えて、今日の聖句にあるように、「男も女も、心から進んでそれらを携えて来た」というのです。エジプトでの奴隷の生活から解放してくださった主の恵みに応答して、喜びと感謝をもって献げたのです。私たちの献げ物の原点は、御子をさえ惜しげもなく与えてくださった主の恵みに対する感謝です。この喜びと感謝が薄れるとき、献金は重荷となってしまいます。献金は常に、自発の献げ物です。主は今も、神の恵みに感謝し、喜んで献げる者たちを求めておられます。自分自身を主にお献げする思いをもって、精一杯の献げ物をしたいものです。